

# 第19回ITS世界会議ウィーン2012の概要及び 第20回ITS世界会議東京2013に向けた取組み

ITS 世界会議東京 2013 日本組織委員会事務局

## 1 はじめに

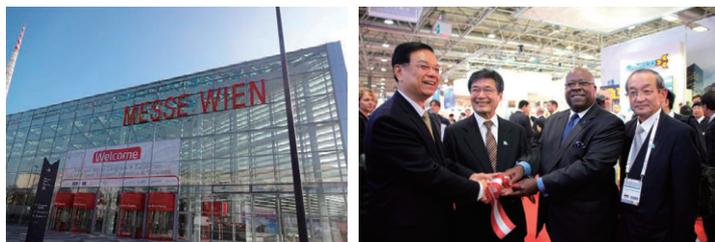
2012年10月22日～26日(月～金)に「Messe Wien」(オーストリア・ウィーン)にて、ITSに関する世界の産・官・学が一堂に会する複合型イベント「第19回ITS世界会議ウィーン2012」が開催され、会議、展示、様々なデモンストレーションが行われ、最後に来年日本で開催される「第20回ITS世界会議東京2013」へとバトンが手渡されました。欧州での経済波及効果も期待される中、盛況となったウィーン世界会議の主な内容と結果、及び、「第20回ITS世界会議東京2013」の準備状況をこれからの取組みとして紹介します。

## 2 「第19回ITS世界会議ウィーン2012」について

“Smarter on the way”をテーマとして開催された今回のITS世界会議では、セッション・展示・ショーケース・デモ等を通じ、Connectivity(つながる車、インフラ・人)、Interoperability(相互運用性)等をキーワードとし、R&Dから実証実験、実用化フェーズへ向け一歩一歩進んでいることが見受けられました。欧州はCar2Carコンソーシアムをベースとした協調システムのECプロジェクト(DRIVE C2X)と、EU全域にわたるクロスボーダーなeCallの実現をアピールする一方、アメリカもSafety Pilotによる協調システムプロジェクトを取り上げた議論が行われました。また日本は、世界に先駆けて実用化フェーズに入ったいくつかの協調システムなどの紹介と今後の展望、東日本大震災を経ての災害時へのITSの役割の重要性と具体的な適用の提案と日本での取組み、さらには、来年に迫った「ITS世界会議東京2013」への期待をアジア・パシフィック地域(以降、AP)から発信しました。

### 2-1. 「第19回ITS世界会議ウィーン2012」開催概要

- ・開催日程、場所：10月22日～26日(月～金) / 「Messe Wien」(オーストリア・ウィーン)
- ・参加者数：約10,000名
- ・参加国数：90カ国
- ・会議登録者数：約3,000人
- ・出展数：約300企業/団体
- ・開催テーマ：“Smarter on the way”  
「よりスマートな移動を目指して」
- ・公式ウェブサイト  
：<http://www.itsworldcongress.at/en/congress/>
- ・主催：Federal Ministry of Transport, Innovation and Technology Austria (BMVIT)  
オーストリア交通技術省



左写真：会場の「Messe Wien」。右写真：オープニングセレモニーに日本から若井国土交通大臣政務官も出席。

## 2-2. 大会コンセプト

以下の6つのコンセプトを軸にセッションが構成され、報告・議論されました。

- ① Optimizing provision and use of infrastructure, traffic and travel data and information  
(インフラ、交通・移動データおよび情報の提供と活用の最適化)
- ② Intelligent infrastructure (インテリジェント インフラストラクチャー)
- ③ Continuity and interoperability of seamless multimodal services for mobility  
(シームレスなマルチモーダルサービスの継続性と相互運用性)
- ④ Integrated safety and security for all users (ユーザの安全と安心の統合システム)
- ⑤ Connected Vehicles, Infrastructure and users for cooperative mobility services  
(協調システムサービスに合う自動車、インフラ、ユーザーの接続性)
- ⑥ Sustainable, clean and energy efficient mobility  
(持続可能でクリーンでエネルギー効率の良いモビリティ)

## 2-3. 開会式及びプレナリーセッション

初日にウィーン少年合唱団による世界会議のために作られた曲で始まり、欧米 AP からの登壇者が下記のようにスピーチを行い、続けて3極の功労者の表彰なども行われました。また、3つのプレナリーセッションが初日、2日目、最終日の閉会式と合わせて実施され、最終日のプレナリーセッションでは、ITS Japan の渡邊会長も講演しました。

### ■ 若井国土交通大臣政務官：「ITS はアジア地域における共通問題解決の鍵に」

アジア・太平洋地域を代表して登壇した若井康彦国土交通大臣政務官は、「アジア・太平洋地域に共通する課題として、「渋滞」「事故」「大気汚染」を挙げ、ITS の重要性、日本での「新たな情報通信技術戦略」をベースとした産官学連携による取組み、震災から学んだこと等を述べ、来年の東京大会への参加を呼びかけました。



### ■ Mesqui ERTICO-ITS Europe 会長：「ITS が日々の経済活動に重要」

ERTICO-ITS Europe の Jean Mesqui 会長は、「ITS 活用のモチベーションとエネルギーを各地域の ITS 組織と分かち合いたい」とした上で、「ITS が日々の経済活動に真に効果をもたらすことが重要である」と述べました。



### ■ Sweatman ITS America 会長：「ITS は、米国の主要産業へ」

南北アメリカを代表して ITS America の Peter Sweatman 会長は、「米国では、ITS 産業は映画産業に匹敵する規模に成長している」と、産業としての ITS について3,000台のテスト車を用いてミシガン州で進められている Safety Pilot プロジェクトへの期待と2014年開催のデトロイト大会をアピールしました。



### ■ 渡邊 ITS Japan 会長：「Connectivity が ITS の中核のコンセプト」

ITS Japan の渡邊会長は、Connectivity が ITS の中核のコンセプトであり、震災経験によって、車とインフラと人との Connectivity の大きな可能性が見えてきたと述べました。具体的にはプローブ情報による通行可能な道路の情報提供がきっかけで情報統合の重要性が認識され、これからはユーザーの巻き込みと官民の連携が重要であり、来年の東京大会でこの Connectivity 革命を共に構想しようと呼びかけました。



## 2-4. 展示会場開会のリボンカットセレモニー

展示会場の開会リボンカットセレモニーは公式イベントとして、10月23日10時45分より、欧・米・APの3極よりゲストを招いて行われました。APからは、若井国土交通大臣政務官とITS ChinaのWu会長が参列し、セレモニーの後これらのVIPは主催者による展示会場ツアーに案内されました。



## 2-5. 「ジャパンパビリオン」で行われた日本出展者のオープニングセレモニー

10月23日午前11時半から、「ジャパンパビリオン」においてオープニングセレモニーが開催されました。日本から出展した各団体・企業の代表者が集う中、テープカットが執り行われました。



(写真左から) 財道路交通情報管理システムセンター 古賀 光彦専務理事  
東京都 秋山 俊行副知事  
ITS世界会議東京2013を成功させる議員の会 山本 有二共同代表・衆議院議員 (来賓)  
ITS世界会議東京2013を成功させる議員の会 直嶋 正之共同代表・参議院議員 (来賓)  
若井 康彦 国土交通大臣政務官 (来賓)  
ITS Japan 豊田 章一郎名誉会長  
ITS Japan 渡邊 浩之会長  
国立情報学研究所 坂内 正夫所長  
富士通㈱ 須山 寛常務理事

## 2-6. 展示について

日本からは、計29の企業/団体が出展しました。

### ■ 単独出展した日本企業 計9企業8ブース

アイシン+アイシン AW、トヨタ自動車、デンソー、富士通、本田技研工業、日本電気、三菱重工業、パナソニック。

### ■ 「ジャパンパビリオン」に合同出展した企業/団体 20企業/団体

道路グループ (国交省、HIDO、道路会社5社)、VICSセンター、UTMS協会、東京都、ベリサーブ、IHI、住友電工、三菱電機、長崎県、東芝、日立製作所、フォーラム8、ITS情報通信システム推進会議、ITS Japan。



## 2-7. ウィーン会議の特徴

トータルセッション数：233件 論文採用数：871件（投稿数：1103件）

ウィーン会議の特徴は、大会テーマの Smarter を軸にして、Connected（つながる車；V2V、V2Iの通信、多様なマルチモーダルと安全・環境維持への貢献）、Apps（スマートホンアプリ；iPhoneが消費者のITSの導入を加速させる）、GNSS（GPSサービス；新しい衛星による新しいサービス）、International cooperation（国際協調；3極間のMOU、MOC EC・USDOTの協調プログラム）と言う4つのキーワードでまとめられます。

## 2-8. デモンストレーション

会場内に設けられたデモ出発エリアには、5つのテーマで計23のデモが用意され、3日間で述べ2,400人が参加しました。その中のひとつ「Cooperative Mobility」としては、欧州の通信規格による車車・路車間協調システムの試乗デモンストレーションが、ウィーン市内の公道を使って実施されました。

この他には、「E-Mobility」「Navigation & Sensors」「Network Operations」「Public Transport」などのデモンストレーションがありました。

## 2-9. テクニカルビジット

テクニカルビジットとしては、鉄道などを含めた8つの事例が実施されました。



Siemens AG Austria-World Headquarters for Metro,  
Coaches and Light Rail



Vienna Climatic Wind Tunnel

## 2-10. スペシャルイベント

< GALA デイナー > 10月24日 19:00 - 25:00

ハプスブルグ新王宮の祝祭ホールで、900人近い参加者でGALA デイナーとダンスパーティーが行われました。



< パブリックデイ > 10月25日 9:00 - 17:00

展示会場にて、約800人の子供や学生が訪れ、ITS オーストリアブースで、LEGOのジオラマを用いた子供達へのITS解説展示などさまざまなイベントが催されました。



## 2-11. 閉会式

最終日となる10月26日に開催された閉会式の最後には、ITS世界会議で恒例となっている、開催地から次の開催地に、3極を経てシンボルである地球儀を渡すセレモニー「パッシング・ザ・グローブ」が行われました。ITS世界会議 東京2013日本組織委員会の渡邊浩之委員長（ITS Japan 会長）と、東京都青少年・治安対策本部樋口真人本部長が受け取った地球儀を高々と掲げ閉会式を締めくくりました。



## 3 「第20回ITS世界会議東京2013」について

### 3-1. 第20回ITS世界会議東京2013開催概要

- ◇大会期間 2013年10月14～18日（月～金）
- ◇開会式……2013年10月14日（月）／東京国際フォーラム
- ◇セッション、展示会、ショーケース、テクニカルビジット、閉会式……2013年10月15～18日（火～金）／東京ビッグサイト
- ◇開催テーマ 『Open ITS to the Next.』
- ◇開催規模 会議登録者数：4,000人、参加者数：8,000人以上、参加国数：60カ国以上、出展小間数：700小間、論文：1,000件、セッション数：250



### 3-2. 大会コンセプト（プログラムコンセプト）

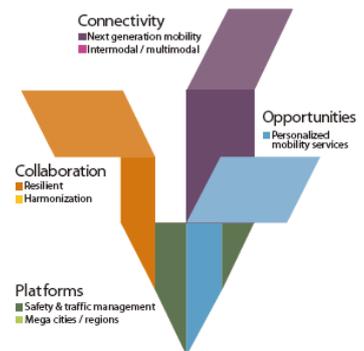
#### “Open ITS to the Next”（東京大会テーマ）

ITSは次世代のモビリティを形作るべく新たなステージに入ります。これまで取り組んできた交通事故や渋滞などの課題の解決に加えて、電気自動車などの出現によるエネルギー管理分野との連携、ネットワーク化社会における新たなビジネス機会の創出、東日本大震災の教訓を活かしたレジリエントな交通社会の実現、という3つの領域へその裾野を広げつつあります。

ITS世界会議東京2013では、OpenをキーワードにITSの可能性を拓く次の4つの言葉を軸とし、大会コンセプトを展開しました。

#### 『 Open platforms、 Open connectivity、 Open opportunities、 Open collaboration 』

- ① Safety and traffic management（交通安全・渋滞の解消へのさらなる取り組み）  
技術革新に基づいた、より安全で、より円滑な交通環境を実現するための技術と関連する法整備などを議論します。
- ② Next generation mobility and sustainability（持続可能な交通社会の実現に向けた次世代モビリティへの取り組みとエネルギー管理分野との融合）  
環境負荷を低減できる次世代の交通手段や効率的なエネルギー管理を行うスマートコミュニティとの融合などを議論します。
- ③ Efficient transport systems in mega cities/regions（メガシティにおける人とモノの移動の効率化）



メガシティの大半はアジアに集中しています。各都市における課題や効率化の施策を共有し、メガシティの今後などを議論します。

- ④ Intermodal and multimodal systems for people and goods (人の移動・モノの輸送におけるインターモーダル・マルチモーダル)

鉄道など公共交通と自動車の共存による最適な交通モードのあり方や、物流における陸上・海上を含めた輸送の効率化などを議論します。

- ⑤ Personalized mobility services (モバイル機器等を用いたモビリティのための個人向けサービス)  
社会全体がネットワーク化され膨大なデータが情報基盤として整備されつつあります。ITSが拡大していく領域として、新たに展開されるサービスやビジネスの可能性を議論します。

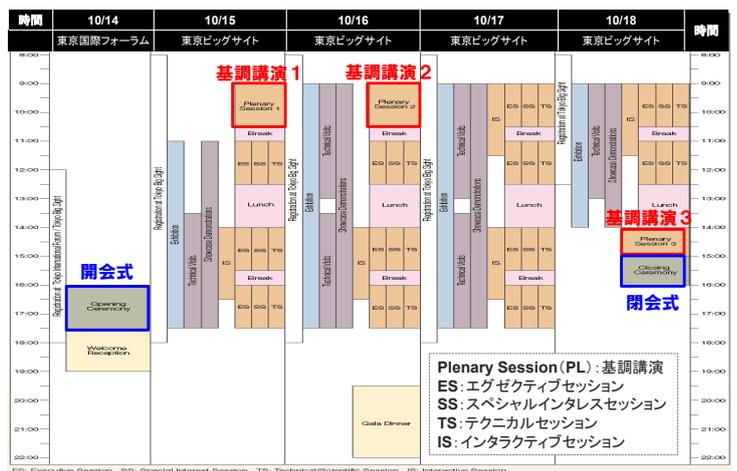
- ⑥ Resilient transport systems for emergency situations (レジリエントな交通社会システムの構築)  
自然災害や緊急事態からの迅速な復旧のための準備や予防保全の仕組みなどの検討例・構築例を通して、レジリエントな交通社会システムとは何かなどを議論します。

- ⑦ Institutional issues and international harmonization (グローバル連携や共通の課題解決に向けた取り組み)

国際協調のあり方や先進国・新興国で共通的な課題や解決策などを議論します。

### 3-3. 会議スケジュール

基調講演を3回、日を分けて実施し、前項の大会コンセプトに基づいたセッションを構成して右記のようにスケジュールリングしていきます。



### 3-4. 各種イベント（式典）について

式典全体の統一コンセプトを『東京 MATSURI』として企画を進めています。

<開会式>

- 日 程 : 2013年10月14日(月) 16:00 ~ 17:30
- 会 場 : 東京国際フォーラム ホール A (1F 3,000名、2F 2,000名)
- 参加者数 : 2,500名(想定)
- 主な内容 : 主催者挨拶、アトラクション(よさこい、和太鼓)など

<展示会オープニング>

- 日 程 : 2013年10月15日(火) 10:40 ~ 10:55 (テープカット)
- 会 場 : 東京ビッグサイト アトリウム、西1・2ホール
- 主な内容 : 主催者挨拶、テープカット、プレス内覧など

<GALAディナー>

- 日 程 : 2013年10月16日(水) 19:30 ~ 22:00
- 会 場 : 椿山荘(オリオン)

参加者数 : 1,000名(想定)  
 主な内容 : 主催者挨拶、アトラクションなど

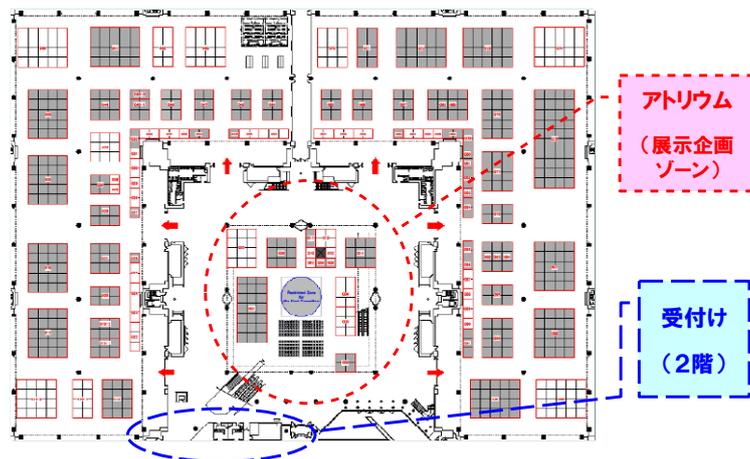
<閉会式&基調講演3>

日程 : 2013年10月18日(金) 14:00~16:00  
 会場 : 東京ビックサイト、国際会議場  
 参加者数 : 1,000名(想定)  
 主な内容 : 主催者挨拶、Passing the Globe など

3-5. 展示について

ビックサイト西館 1階を(右記の図参照;屋内 20,000㎡)700小間に割振り、現在、出展社募集中。(販売予約状況:560小間 2012年12月26日現在)

センターのアトリウムにおいては、主催者企画ゾーンとして、開催都市東京都、関係省庁、関係自治体、ITS Japanを中心に3極と協力して開催テーマを体現する展示やイベントを設定する予定です。



3-6. ショーケース及びテクビジット

(1) ショーケース

未来のITS(実験段階のものやこれから実用化を目指すもの)を見学、体験していただくもので会場として、公道利用タイプと世界会議会場施設(屋外、屋上、屋内)を利用したタイプに分けてデモンストレーションを準備する予定です(現在、AP含めた海外への参加呼びかけ実施中)。

タイプ		候補案件
会場外	公道利用	次世代協調型システム(ITS Green Safety)
		情報提供高度化(次世代VICS、震災時提供、クラウド連携、ITSスポット補完)、高度運転支援、信号制御
会場施設	屋外	自動運転、安全運転支援、災害時ネットワーク
	屋上	駐車支援、グリッド連携
	屋内	歩行者ナビゲーション、IMES(Indoor MESSAGING System)

(2) テクビジット

現在、半日でツアーを組む以下の9つのテクビジットを設定しています。

- ①警視庁交通管制センターと東京都防災センター
- ②「ゆりかもめ」中央司令室と公共交通乗車体験
- ③臨海トンネル監視センターと大井コンテナターミナル
- ④先進の交通管制センターとVICS
- ⑤横浜みなと未来V2I~交通管制センターの見学と路車協調システムの体験~
- ⑥横浜スマートモビリティ
- ⑦柏ITSスマートシティ
- ⑧Hondaスマートホームシステムとソーラー水素ステーション
- ⑨高速道路交通管制センターと保守運用設備

### (3) ポストコンgresツアー

開催期間の終わった19日からのツアーについても現在4つ設定しています。

ツアー名	概要
	<b>あいち／豊田ITS サムライツアー</b> 無線通信を使った安全運転支援システム(DSSS)、最新のITS技術と低炭素社会の融合を実現した「とよたエコフルタウン」、ITS技術を使って中部地域の道路情報を収集・提供する「統合道路情報管理センター」を見学します。さらに、「トヨタ会館ミュージアム」の見学、磁気浮上式リニアモーターカー「リニモ」の試乗、サムライの歴史に触れることのできる徳川美術館・名古屋城の見学が含まれます。
	<b>長崎EV&amp;ITS ～エコアイランド五島へ～</b> 「長崎EV&ITS(エビッツ)」は140あまりの島から成る五島地域で行われている、EV等とITSが連動した「未来型ドライブ観光システム」の構築や、EVとエネルギーシステムが連携した「エコアイランド」の実現を目指すプロジェクト。参加者は「遣唐使ふるさと館」で急速充電をしたり、EVやITSスポットを用いて「未来型ドライブ観光」を体験すると共に、世界遺産候補の1つである五島地域の自然の素晴らしさや遣唐使・キリスト教等まつわる史跡も見学
	<b>新東名高速道路ツアー ～次世代高速道路～</b> 新東名高速道路のドライブを通して最新のITS技術と観光を体験します。テクニカルビジット「高速道路交通管制センターと保守運用設備」と同じ川崎交通管制センターを訪問し、新富士ICにて最新の遠隔対応料金設備、駿河湾沼津SAにて維持管理車両デモ、駐車場誘導、非接触EV給電などを体験します。
	<b>釜石市のオンデマンド 交通システム</b> 東日本人震災の甚大な被害から再建中の釜石市のオンデマンド交通システムを見学します。被災地交通支援に対するIT技術の活用事例として、復興による街の発展に伴って変化する住民の移動ニーズ(仮設住宅、仮設店舗から復興住宅、常設商業地)に対応可能なオンデマンド交通システムを紹介します。あわせて世界遺産「平泉」も見学します。

この他にも会議参加者の方に観光いただけるゲストツアーも用意する予定にしています。

## 4 おわりに

ウィーンの世界会議が盛況に終わり、今年東京で行われる ITS 世界会議東京 2013 でこれからの交通社会に関する論議が活発に行われ、様々なサービスやビジネスに繋がることなどへの期待が広がりつつあります。主催者側でも、20回大会に当たることで3極共同でのパネルや映像などの製作物を提示していくことや市民の方に参加いただく市民公開日を2日間設け、3極の方との交流も検討していくなど新しい試みも予定しています。これから募集の始まる会議登録による参加はもちろんのこと、出展関係、各イベントへの参加に関しても多くの方に検討いただければ、日本組織委員会事務局としては、幸いであり、皆様の参加によって作られていく国際会議として、必ず成功に導かれるものだと確信しております。是非多くの方々の御参加をよろしくお願いいたします。